

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月 24日

事業所名 みらいのいぶき 名島

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			利用定員によって1階、2階と活用し、リハビリや活動のスペースを設けております。
	2	職員の配置数は適切である	○			法定での配置基準は満たしております。現在は、開所したばかりの為職員の配置は適切だが、利用人数が増え、1階と2階に支援が分かれた場合、配置スタッフの数を増やさなければならないと考えています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			フロア内段差は無く、お子様が安全に過ごしております。トイレも広く、エレベーターも設置されています。螺旋階段があるため、お子様が転倒、転落しないよう昇降する際は職員が見守り、介助を行っております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			月に1回の職員間のミーティング、月に2回お子様に対する支援のミーティングを開催しており、問題点も含めサービスの適正化、質の向上、年間目標、先月の振り返り、来月の目標設定等行っております。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			開所して初めてのアンケート調査です。保護者様からの意見に真摯に向き合い、職員一同業務・支援の改善に努めます。また、送迎時などで聴衆させて頂き、常日頃から支援の向上に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページ:「 http://www.m-ibuki.com/ 」に掲載しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者へは依頼しておりませんので、今後の検討課題としています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			毎週会社全体の研修に参加しています。また、お子様に対する知識を深めるため、月に2回研修を行っております。今後も感染症予防に努めながら継続して取り組んで参ります。
適切な 支援の提	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			お子様の学校・ご自宅、他事業所での様子を聴衆させて頂き、お子様に合わせた内容で放課後等デイサービス計画書を作成しています。保護者様から十分に聴衆することが出来ない事もある為、今後の課題として挙げられています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			発達判断に使用される評価や自閉症の評価表等を使用し、お子様の支援に繋げるように努めています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			専門職(保育士、教員、理学療法士、作業療法士)の多職種で構成されるチームにて支援ミーティングを行い、ミーティング内容に基づいて作成しております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			固定化しないよう専門職(保育士、教員、理学療法士、作業療法士)で支援活動を話し合い、毎週異なるプログラムを準備、実行しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			平日は短時間である為、支援内容が限られています。休日は遊びリテーションプログラム中心に支援を行っており、長期休暇は専門的なりハビリテーション、遊びリテーションプログラムを行っております。しかし、きめ細やかさが不十分の為、きめ細やかに設定できることを職員間で課題として取り組んで参ります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			お子様の状況に合わせて個別・集団活動に対しては取り組んでおり、放課後等デイサービス計画を作成しています。しかし、平日の集団活動が少ないため、今後は課題として取り組んで参ります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			現在は、コロナウイルスの感染を考慮し、打ち合わせの機会が減少しています。その為、独自の社内情報共有システムを利用し、前日及び当日に職員間で情報の共有・周知に取り組んでおります。細かな内容に関しては取り上げていないこともある為、良い支援を提供できるよう情報交換に力を入れていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援終了後も独自の社内情報共有システムを利用し、職員間で情報を共有しています。しかし、細かい部分での振り返りや気づいた点に関しては共有が不十分の為、今後職員間で改善に努めます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			活動記録を記載し、全ての職員が閲覧できるよう仕組み化しております。支援の検証、改善に対して取り組みが少ないため、強化して参ります。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			各専門分野ごとにモニタリング結果をすり合わせており、お子様の状態に合わせて見直し、必要な場合は変更しております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			基本活動は行っております。複数組み合わせ合わせたの支援に関して、不十分であると思われるので、全職員で改善に努めます。
関係機関 や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		現在はコロナウイルス感染を考慮し、参画できていませんが、精通した職員が参画できるよう可能な限り、スケジュール調整しております。合わない場合は書面にて状況、内容等を報告し後日、担当相談支援員と情報交換させていただきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校主催の情報交換会の参加をしております。(年間計画、行事予定、下校時間等の打ち合わせがあります)また、適宜学校側よりご指導を頂いております。また、ご利用中のお子様についての情報発信をこちら側よりさせて頂く場合もあります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			訪問看護ステーションを通して連携医療機関との情報交換等を行っています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		これから新1年生のお子様に関して就学前の利用施設との情報交換・相互理解できるよう努めて参ります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			現在学校を卒業予定のお子様がいらないため情報を提供していませんが、今後すべてのお子様の情報提供ができるよう、保護者様、相談支援員と連携して参ります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている				現在、コロナウイルス感染予防の為、研修等は開催が行われていない状況です。今後リモート等で行われるようであれば、積極的に参加したいと考えております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				現在、コロナウイルスの感染予防の一環として、外部施設の方々との交流は控えております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している				現在は、コロナウイルス感染予防の為、このような会が行われていないことから、参加はしていません。リモート等で開催があるのであれば、積極的に参加したいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			送迎時や連絡帳を通じてお伝えしています。共通理解に関しては、浅い部分がある為、今後共通理解できるよう取り組んでいきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		保護者様に対してペアレント・トレーニング等の支援を取り組んでいないことがある為今後取り組み、対応力の向上に努めます。
保護者への	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に重要事項説明書をもって説明しております。また、法改定時には新しい重要事項説明書をもって補足説明を行っていく予定です。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○		子育てや悩みに対して、経験が浅いため、上司や看護師に相談しお応えさせて頂いています。今後も保護者様の悩み等が解決出来るよう取り組んでいます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		今後は保護者会の開催や情報交換の機会を設けたいと考えます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			対応の体制としてはマニュアル、フローチャートに準じて対応時の状況、その検証、職員への周知を図っています。また、苦情を頂いた場合には迅速に周知し対応するよう心がけています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
説明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			「みらいのいぶき通信」を毎月発行し、活動等の様子を写真を添えてお届けしております。大きなイベント等の行事予定は事前にお知らせしております。
	35	個人情報に十分注意している	○			法定に則り、厳重に管理しております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			保護者様とは、お子様の連絡帳を活用し情報の伝達を行っています。お子様とは、紙と鉛筆を使って意思疎通を行ったりしていますが、ご自宅での意思疎通の方法について情報収集し、意思疎通の幅を広げて参ります。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		開所して間もないこと、コロナウイルス感染というもあり事業所の行事を行えていません。今後は、画面を通して行事を運営できるよう体制を整えて参ります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各種マニュアルの策定段階で一般スタッフも参画し、一緒に作り上げていますが、保護者様には、充分にお伝えできておりませんので今後の周知させていただきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			運営規定で定めている時期、頻度に応じて関係機関に協力を得て訓練を行っております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		適切な対応は出来ていますが、職員の研修として機会を確保できていない状況です。正しい知識を得るためにも研修の機会を設けます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			やむを得ない状況を想定し、状況が改善される一時のみ実施させていただく旨、個別に重要事項説明書に記載、ご同意いただいてからサービス提供実施しております。また、一時的に行った場合、業務日誌に都度記載しております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			食事の提供はしておらず、持参していただいております。アレルギー情報は、アセスメントとして保護者様の申し出及び医師の指示書を基に対応させて頂いており、スタッフ間でも情報共有を行っております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			些細な事例でも起こった際は、記録、情報共有しており、上司や他の職員から指導や改善点を出し合っています。